



災害のとき、大切なものをまもるために・・・

家庭でつくる 講演会

ミニ・デジタルアーカイブのすすめ

—熊本地震の経験から—

平成28年4月に起こった熊本地震では、それまで文化財としての指定や調査等が行われていなかった個人所有の資料にも大きな被害が出ました。こうした個人所有の文化財レスキューに関わった竹原氏から、震災後の現地の様子、災害に備えた個人レベルでのミニ・デジタルアーカイブづくりの必要性についてお話を伺います。寺院や文化財が多く残る若狭で、これからの文化財保護について一緒に考えてみませんか。

平成29年

11/4^土

午後1時半～午後3時半

定員

60人

聴講 無料

会場 福井県立若狭歴史博物館 講堂
小浜市遠敷2丁目104 ☎0770-56-0525

講師 熊本市立熊本博物館
竹原 明理氏(美術工芸担当学芸員)

福岡県宗像市生まれ。
成城大学文学部文化史学科卒業。
大阪大学大学院文学研究科博士後期課程修了。文学博士。
2015年より現職。2016年より熊本県文化財保護審議委員。

●主催
福井の文化国際発信実行委員会(福井県 観光営業部 文化振興課内)
福井県博物館協議会・北信越博物館協議会



FAX.0776-20-0661

・参加希望の場合は下記にご記入いただき、このままFAXしてください。
・複数でのご参加希望の場合、代表者のお名前・連絡先・参加人数を記載してください。
・お電話またはメールでも受付しております(福井県文化振興課内)
TEL.0776-20-0580 メール/bunshin@pref.fukui.lg.jp

■参加人数 人

ふりがな

■お名前

■TEL

〒

■住所



平成29年度 文化庁
地域の核となる
美術館・歴史博物館支援事業